

LED電球付ペンダントライト PL5L-E17LU

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：3年間 ただし、消耗品（LED電球など）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
住所・店名		電話（ ） -	

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

- 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間で、24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
- 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- 長期で使用する場合は商品の自主点検をおすすめします

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

● スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。

● 本体や配線部品を動かすと点滅する。

● こげくさい臭いがする。

● 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。

● 器具取付部などに変形、がたつき、ゆるみなどがある。

● 器具カバーや本体に破損がある。

使用中止

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- 4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にできない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。

① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷

② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷

③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷

④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷

⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷

⑥ 本書の提示がない場合

⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール

(通話料無料)

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール

(通話料無料)

受付時間

平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは

(通話料無料)

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください

iris

LED電球付ペンダントライト PL5L-E17LU

屋内用

取扱説明書

保管用

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

お客様へ：天井配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

取り付け可能な天井配線器具形状

角型、丸型引掛シーリング・ローゼット

埋込引掛ローゼット

角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

フル引掛ローゼット

丸型フル引掛シーリング

埋込ローゼット(耳つき)

埋込ローゼット(耳なし)

使用可能電球

アイリスオーヤマ製LED電球

E17口金 7.7Wまで(質量100g以下)

※この器具はLED電球専用です。
白熱電球や蛍光灯電球は使用できません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

ここに示したご注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味：

禁止

してはいけない「禁止」内容です。

しなければならない「指示」内容です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

● 器具を改造したり、部品を交換したりしない
器具落下・感電・火災などの原因になります。

● コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
コードが損傷し、火災・感電の原因になります。

● 調光器未対応の電球には調光器を使用しない
破損や発煙の原因になります。 「入・切」専用

✕     
交換

● 可燃物で覆ったり、被せたり、近づけない
火災の原因になります。

● 白熱電球を使用しない
火災の原因になります。

必ず実施

● 器具の取り付けは確実に行う
落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。

● 異常を感じたら速やかに電源を切る
すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

● 定格電源電圧（AC100V）で使用する
火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

● 清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る
感電の原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

禁止

● 光を直視しない
点灯中にランプを直視しないでください。目を傷める場合があります。

禁止

● 点灯中・消灯直後は、器具に触れない
やけどの原因になる場合があります。

● 破損した器具は使用しない
落下してけがの原因になります。破損した場合は修理を依頼してください。

● 温度が高くなる機器を近くに置かない
器具故障の原因になります。以下のような設置場所は避けてください。
・ エアコン吹き出し口近くへの設置
・ 真下に発熱機器の設置（ストーブ・コンロなど）

● 器具を水洗いしない
火災・感電の原因になります。水につけたり、かけたりしないでください。（お手入れについて参照）

● 屋外や湿気の多い場所で使用しない
故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。

● 薬品を使用しない
器具やカバーの変形、火災の原因になります。殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。

必ず実施

● 周囲温度5～35℃で使用する
火災の原因になりますので、高温の場所（35℃を超える場合）へは本器具を設置しないでください。

● 年に1回は自主点検を実施する
長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。（裏表紙参照）
設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。
※参考使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。
(JIS C8105-1解説による)

● コードが損傷したらすみやかに電源を切る
コードが損傷した場合（芯線の露出・断線など）は修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

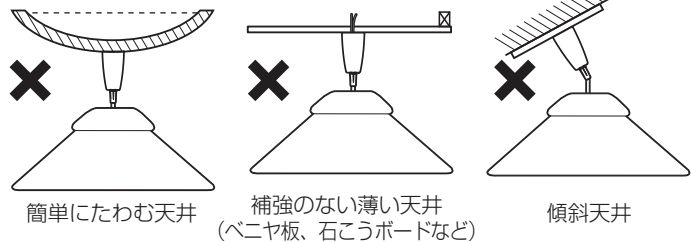
77833
110815_TCR_MEN_01
P170815_TCR_MEN_01



警告

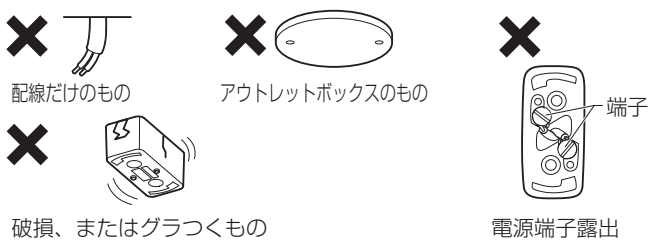
●次のような場所には取り付けない

器具は天井取り付け専用です。
指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



●次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下によるけがの原因となります。
配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。
(配線器具の交換は電気工事士の資格が必要です)

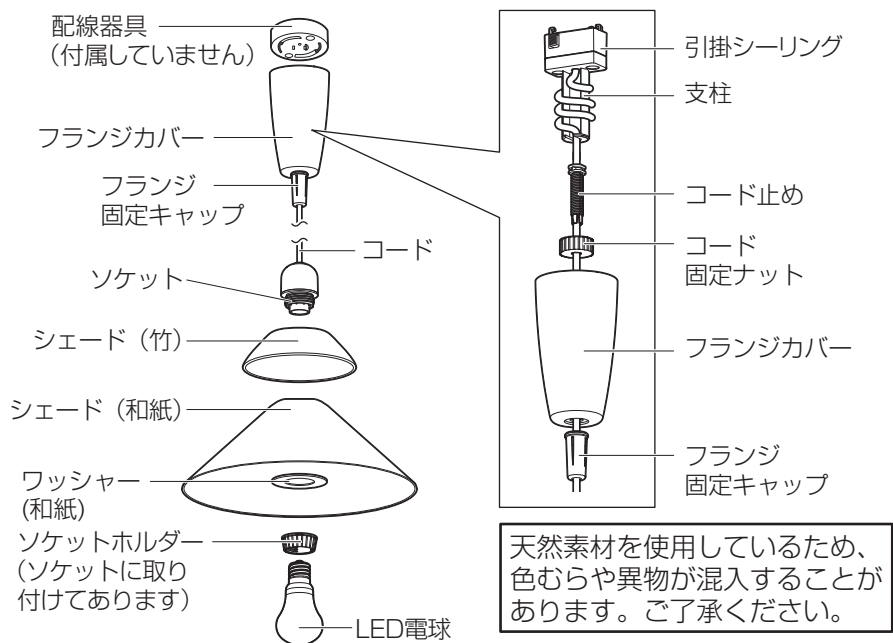


使用上の注意

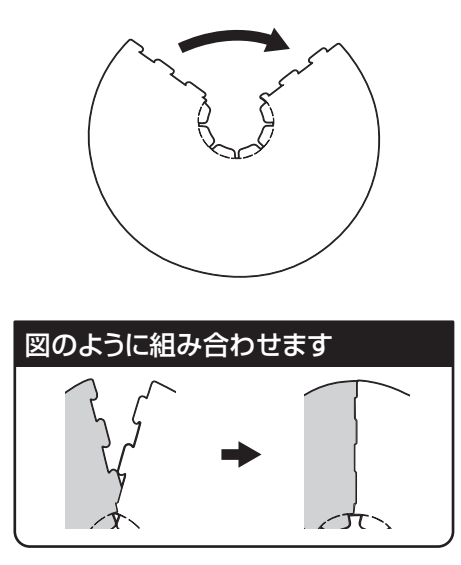
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- きわめて近くにあるリモコン機器（エアコンなど）の、リモコンが動作しにくくなる場合があります。
- LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式の商品でも光の色や明るさが異なる場合があります。
- 周囲の温度が高い場合や、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。



シェード（和紙）の組み立て方



■点灯、消灯は壁スイッチで切り替えてください。

取り付け

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

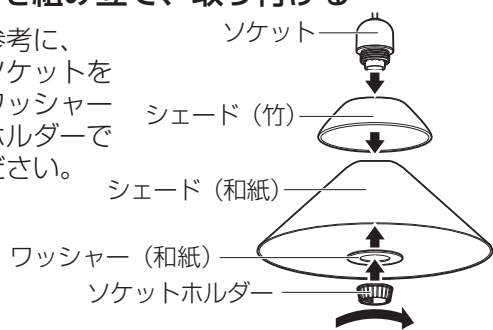


注意

- 高所での作業になります。
- 必ず足元の安全を確保してから行ってください。

1 シェードを組み立て、取り付ける

イラストを参考に、シェードにソケットを差し込み、ワッシャーとソケットホルダーで固定してください。



2-1 コードの長さの調節

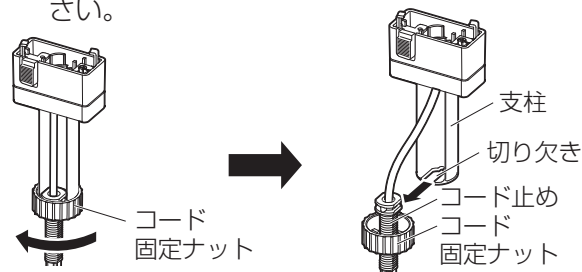
配線器具に取り付ける前にコードの長さを調節します。

- ①ライトをやわらかい布などの上に置いてください。
(固い床の上などで行うと、床や本体が傷つく原因になります。)
- ②フランジ固定キャップを反時計回りに回してゆるめ、フランジ固定キャップとフランジカバーをコード止めからはずしてください。



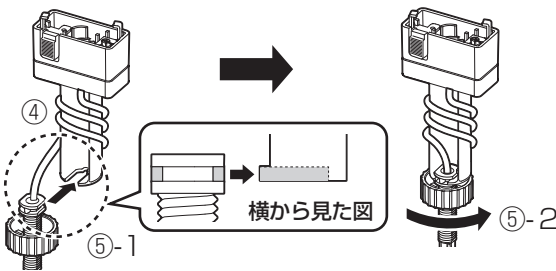
2-2

- ③コード固定ナットを反時計回りに回してゆるめ、コード止めを支柱の切り欠きからはずしてください。



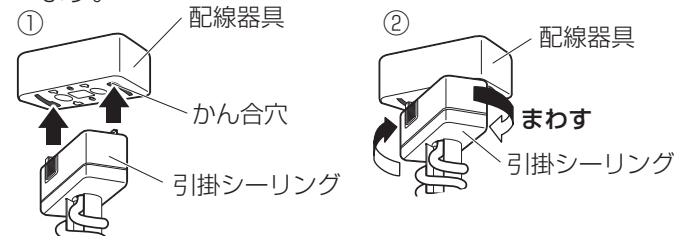
- ④ご希望の長さになるまで支柱にコードを巻きつけます。
(全長115cm～45cmまで調節可能)

- ⑤コード止めを支柱の切り欠きにはめ込み、コード固定ナットを締め込んで固定します。



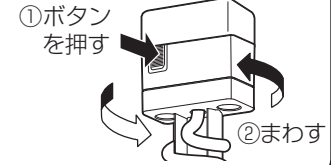
3 天井の配線器具に、引掛けシーリングを取り付ける

- ①配線器具のかん合穴に、引掛シーリングの端子を差し込んでください。
- ②引掛シーリングを時計回りに回し、配線器具に取り付けます。



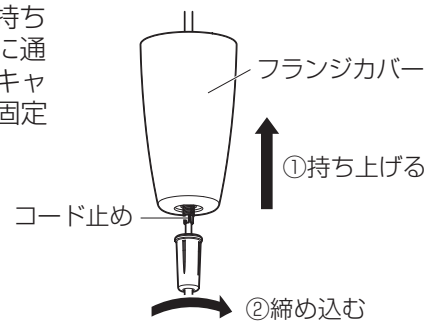
取り外しについて

- ①引掛シーリングのボタンを押しながら
- ②引掛シーリングを反時計回りに回し、取り外します。

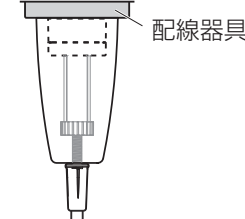


4 フランジカバーを持ち上げて固定する

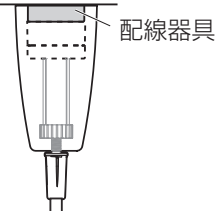
フランジカバーを持ち上げ、コード止めに通し、フランジ固定キャップを締め込んで固定します。



- ①フランジカバーが配線器具よりも小さい場合



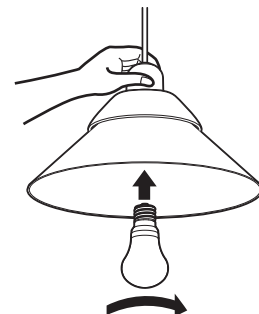
- ②フランジカバーが配線器具よりも大きい場合



5 LED電球を取り付ける

ご注意

下記以外の電球(白熱電球など)を使用した場合は、器具内の安全回路が作動し、消灯することがあります。
その場合は壁スイッチを切り、対応電球へ交換してご使用ください。



付属電球

E17口金 LDG5L-H-E17-WP LED電球
ボール電球タイプ 電球色相当

※お好みで電球を取り替えます。
(アイリスオーヤマ製 LED 電球)
E17口金:7.7W まで(質量100g以下)

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。



注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。消灯直後は電球や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。
- 器具本体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

※和紙部分はやわらかいハケやブラシで掃除してください。

1. 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取る
次のものは使用しない……ベンジン、タワシ、スポンジの硬い面、シンナー、みがき粉、アルコール
2. 汚れ落ちを確認後、洗剤分をふき取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。
3. 仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全にふき取る